

専門部会報告

- 専門部会における検討事項一覧 1
- 文化・環境部会提案 7
- 産業・労働部会提案 2 3
- 福祉・医療部会提案 5 1
- 教育・学習部会提案 6 7
- 安全・基盤部会提案 8 7

「明日の京都」ビジョン懇話会 専門部会における検討事項一覧

部会名称	中心テーマ	検討事項	提案部局等	グルーピング 考え方
文化・環境	京都の持つ環境先進性、文化精神性を日本人の暮らしと心に取り戻すこと	京都らしさを支える気候や環境を守るべく、「低炭素社会」を実現するための京都独自の先進的な方策	座長・ 中間とりまとめ	温暖化対策
		四季折々の自然の変化を心や五感で体感し、人々の暮らしの中に季節感を取り戻すなど、自然や環境を大切にし、共生する風土づくり・人づくりのための方策	座長・ 中間とりまとめ	環境との共生
		京都の「もったいない」「しまつ」といった先人の知恵・価値観や、育んできた文化の大切さを再発見し、持続可能な産業や生活に活かす「循環型社会」（水循環を含む）を実現するための方策	文化環境部	
		生産活動をはじめ地域に住む人々の営みにより守られ、食料のみならず、きれいな水や空気を供給する「命の里」である農地や森林を、府民全体で守り・支えていくための方策	農林水産部	
		伝統文化、祭り、芸能、旬の食材、和装、日本建築など京都の文化に誇りをもち、守り育て、次の世代に伝承していくための方策	座長・ 中間とりまとめ	京都文化・ 地域文化
		人々の営みや伝統文化を映しながら京都の各地で守り育てられてきた景観などの地域資源を愛する心を育み、次世代に引き継いでいく方策	建設交通部	
		歴史遺産や文化、芸術・芸能、人文社会系の学術研究など、ポスト工業化社会で価値が高まる資源への投資を見直し、経済社会で有効活用する方策	座長・ 中間とりまとめ	文化産業

部会名称	中心テーマ	検討事項	提案部局等	グルーピング 考え方
産業・労働	歴史と伝統あるものづくりを極めるとともに、一人ひとりの仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現すること	京都が脈々と受け継いできた、ものづくりの知恵と技術を大切にし、人材の育成も含め新たな京都の発展につながる産業を創造していく方策	座長・ 中間とりまとめ	ものづくり・ 経済交流
		京都の持つ伝統文化や高度なものづくり技術、環境の先進性、学術研究機関の高度集積などの強さを活かし、新産業の創造等により京都経済を活性化するための方策 ・サステナビリティ社会に向けた新産業の創出 ・ライフスタイル等の変化に対応したビジネス機会の創出	商工労働観光部	
		今後の世界経済をリードするアジアやロシアなどの諸国との経済交流の促進により京都経済の発展を図るための方策 ・成長するアジアとの経済交流のあり方	商工労働観光部	
		商店街、観光、NPOなどの地域に根ざした事業活動を活性化し、地域内で資金が循環する地産地買型の経済構造に転換していくための方策	座長・ 中間とりまとめ	地域経済
		経済のグローバル化、情報化が進展する中、中小企業の経営力の向上を図るとともに、観光や伝統産業、商店街等の振興により地域経済が自立・持続的に発展するための方策	商工労働観光部	
		農山村地域において、若者が定住し、あるいは都会から移住してくるような魅力とやりがいのある暮らしの場を創出していくための方策	座長・ 中間とりまとめ	農山漁村 活性化
		農山漁村地域の維持保全につながる農林水産業の振興、並びに、これらの生産活動等を通じた地域経済の規模の維持拡大のための方策 ・地域資源等を活用した地域経済の活性化	農林水産部	
		労働格差の是正と一人ひとりのワークライフバランスの実現に向けて、人、企業、社会の意識・制度を三位一体で転換していくための方策	座長・ 中間とりまとめ	ワークライフ バランス
誰もが安心して働ける就業の場を創出する仕組み作りや企業ニーズに対応できる人材育成を図るとともにワークライフバランスの実現に向けた方策 ・ワーク・ライフ・バランスの実現	商工労働観光部			

部会名称	中心テーマ	検討事項	提案部局等	グルーピング 考え方
福祉・医療	誰もがどこでも安心して暮らす (ノーマライゼーション)ことのできる共助型の福祉・医療社会をつくること	医療現場における様々なミスマッチの解消や最新のIT技術などを活用した医療・福祉の空白地域解消のための方策	座長・ 中間とりまとめ	医療体制 の整備
		地域社会の中で、地域総掛かりで、互いに支え合う共助型福祉システムをつくるための方策	座長・ 中間とりまとめ	福祉システム
		福祉の「セーフティネット」を構築していくための方策	健康福祉部	
		高齢者や障害のある方、子育て中の親が生きがいと誇りをもって活躍でき、誰もが不安なく子育てができる社会をつくるための方策	座長・ 中間とりまとめ	福祉サービスの 受益者
		子どもの権利が守られ、幸せな家庭を築くことができる社会を作るための方策	健康福祉部	
		障害のある方が生きがいと誇りを持って活躍でき、障害があることのみをもって不利益を受けることがない社会を作るための方策	健康福祉部	
		予防医学、緩和医療、食品医療、福祉器具開発など、福祉・医療分野の研究開発を推進し、府民の健康増進に結び付けていくための方策	座長・ 中間とりまとめ	健康づくり
		府民が自らの健康を守っていくことができる社会を作るための方策	健康福祉部	

部会名称	中心テーマ	検討事項	提案部局等	グルーピング 考え方
教育・学習	家庭・学校・地域による協働教育を推進し、人間力を培い、一人ひとりの将来目標の実現と明日の京都府づくりを担う人づくりを行うこと	子どもの教育を学校任せにせず、生活習慣、社会規範・道徳教育、人権や心の教育を含め、学校・家庭・地域社会による三位一体の協働教育を推進するための方策	座長・ 中間とりまとめ	社会全体の 取組
		一人ひとりの尊厳と人権が尊重される社会を実現するため、同和問題、女性、子どもなど、さまざまな人権問題について、あらゆる場・機会を通じて人権教育・啓発を推進するための方策	府民生活部	
		青少年一人ひとりの立場に立って、自らの可能性が発揮できるよう、青少年の社会的自立と他者との共生を目指し、社会全体でその健やかな成長を保障するための方策	府民生活部	
		子どもの学びへの情熱を引き出し、初等教育で落ちこぼれなく全員が確かな基礎学力を身に付け、グローバル社会の中で自己実現を可能にするための教育方策	座長・ 中間とりまとめ	子ども
		教育基本法に掲げられた知徳体の調和のとれた人間の育成という理念の実現に向けて、子どもの体力の向上を図る方策	教育庁	
		共生社会の実現に向け、子どもたちの多様な教育ニーズに対応する方策	教育庁	
		大学受験のための知識詰め込み教育を、生涯を通じた目的達成型の継続教育に改めることをめざし、企業の採用、大学入試、高校教育のあり方等を一体的に変革するための方策	座長・ 中間とりまとめ	教育理念
多彩な大学が多く立地し、学生や外国からの留学生が多く、また勉学・交流・活動しているという特性を一層京都府づくりに活かす方策	座長・ 中間とりまとめ	大学の活用		

部会名称	中心テーマ	検討事項	提案部局等	グルーピング 考え方
安全・基盤	地域において必要な定住条件を整備し、自由で安心な新時代のコミュニティを構築すること	それぞれの地域の多様性を活かしつつ、若者がふるさとに定住し、都会から人々が移住してくるために不可欠な社会基盤等の定住条件の整備方策	座長・ 中間とりまとめ	基盤整備
		超高齢化社会を迎えた中で、低炭素社会の実現など環境の視点や地域の活性化の観点を踏まえた、各地域・各世代を問わず自由な移動が可能となる方策	建設交通部	
		明日の京都の活性化に不可欠である骨格的な高速道路網や鉄道網の整備・活用方策	建設交通部	
		民間型の資産運用管理手法（アセットマネジメント）の導入、人工的な社会資本の自然への復元、公共事業に対する地域社会の自主性を高める権限の付与（エンパワーメント）など、新しい形の公共事業の推進方策、府民との対話により、まちなかに築かれた資源を有効に活用した新しいまちづくりの推進方策	座長・ 中間とりまとめ ＋ 建設交通部	新しい公
		地域社会の中で異世代、異文化が交流を深め、地域内の絆を一層強めることで地域力による暮らしの安心安全を強化するとともに、都会において失われつつある地縁共同体をNPOとともに補完する新しいコミュニティの形成方策	座長・ 中間とりまとめ	コミュニティ
		男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開できる、社会基盤として不可欠な男女共同参画の実現のための方策	府民生活部	
		大規模地震や洪水・土砂災害などの自然災害をはじめとする様々な危機に強いまちづくり（府民の生命財産への被害軽減に資する社会基盤の整備等）の推進方策及び災害発生後の早期民生安定に寄与する危機管理体制や地域力の強化方策	府民生活部 ＋ 建設交通部	安心・安全
		地域における防犯や消防活動、交通安全や消費者問題など、府民生活の安心・安全を府民自らが確保しようという意識を高め、地域が主体となって支えていくための方策	府民生活部	
		不法投棄や土壌汚染などの環境リスクから府民を守るための方策	文化環境部	
府民が健康で、安心して豊かな食生活を送るための方策	農林水産部			